

歴史巡り
MAP付

敦賀

戦国歴史浪漫

敦賀城主
大谷吉継と
その時代



レンタサイクルと周遊バス

レンタサイクル

8:30～19:30

敦賀観光案内所

敦賀駅交流施設オルパーク内)

時間 300円～

ママチャリ	スタンダード
1時間 300円	2時間まで 400円
2時間 500円	2～4時間 600円
3時間 700円	4～6時間 800円
4時間 900円	6～8時間 1,000円

スポーツ	電動アシスト
1時間 500円	2時間まで 600円
2時間 700円	2～4時間 800円
3時間 900円	4～6時間 1,000円
4時間 1,100円	6～8時間 1,200円

レンタルできる自転車は、ママチャリ、スタンダードサイクル、スポーツサイクル、電動アシストサイクルの4種類からお選びいただけます。8時間以上のレンタル、1泊2日以上以上のレンタルも可能です。料金、利用方法等は下記までお問い合わせください。

0770-21-8686 敦賀観光案内所

ぐるっと敦賀周遊バス

JR敦賀駅を起点として市内の主要観光地へアクセスする周遊バスです。午前10時10分から午後4時20分まで約1時間間隔で運行しております。

中池見口 ↓ 3分	金崎宮 1分	赤レンガ倉庫前 1分
小牧かまぼこ ↓ 5分	1日フリー券 大人 500円 小児 250円	金ヶ崎緑地 2分
リラ・ポート ↓ 6分	1乗車 大人 200円 小児 100円	水産卸売市場 6分
あっとほうむ ↓ 6分		松原公園 3分
昆布館 ↓ 7分		山車会館 1分
日本海さかな街 ↓ 2分		相生町通り 1分
ニューサンピア敦賀 9分	敦賀駅前 3分	氣比神宮前 1分

●小児とは、小学生以下です。但し、未就学児は1人まで無料です。(2人目からは有料となります)

●乗車券は車内でお求めください。

☎ 0770-25-2111 敦賀観光バス株式会社



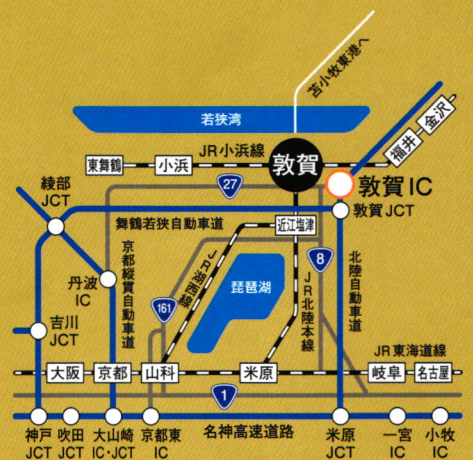
敦賀までのアクセス

車で	敦賀ICまで
名古屋	約1時間30分 (120km)
大阪	約2時間 (170km)
京都	約1時間30分 (120km)
沢	約1時間35分 (133km)
野	約4時間30分 (370km)
京	約5時間30分 (450km)

電車で	JR敦賀駅まで
名古屋	約1時間30分 (JR東海道本線・北陸本線)
大阪	約1時間20分 (JR湖西線)
京都	約55分 (JR湖西線)
金沢	約1時間25分 (JR北陸本線)
長野	約3時間30分 (JR北陸新幹線・北陸本線)
東京	約3時間 (JR東海道新幹線・北陸本線)

フリーで 敦賀港まで

敦賀東港 直行……約19時間／新潟、秋田経由……約31時間



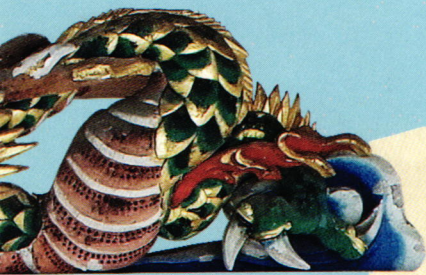
お問い合わせ先

(一社) 敦賀観光協会 ●敦賀市本町2丁目1番20号 南公民館3F TEL 0770-22-8167
敦賀観光案内所 ●敦賀市鉄輪町1丁目1番19号 敦賀駅構内 TEL 0770-21-8686
敦賀市観光振興課 ●敦賀市中央町2丁目1番1号 TEL 0770-22-8128

<http://www.turuga.org>

敦賀観光協会





飾りや礎石、鬼瓦、
まな歴史的遺産が残されています。
も現存しています。



みょうけんじ

妙顕寺 14

織田軍による朝倉氏攻めの折、信長はここ妙顕寺に
金ヶ崎城・天筒山城攻めの本陣を張りました。

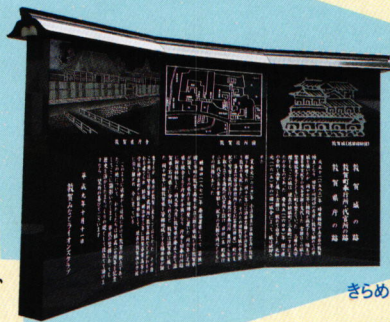
電 0770-22-1342

所 敦賀市元町9-18

つるがじょうあんないひ

敦賀城案内碑 11

蜂屋頼隆によって築城が始まった敦賀城は、
大谷吉継によって完成したと考えられています。
元和2年に一国一城令により、廃城されたのち、
奉行所、県庁舎（旧・敦賀県）、
警察所・裁判所・病院、尋常小学校（現西小学校）
と変遷しました。



③ 金ヶ崎城跡

金ヶ崎宮
〒

ランプ小屋

祀 金前寺
P

人道の港「敦賀ムゼウム」

金ヶ崎緑地
P

● 敦賀赤レンガ倉庫

● 敦賀鉄道資料館
(旧敦賀港駅舎)

きらめきみなと館
P

敦賀倉庫 ● 市民文化センター ●

● 敦賀港湾事務所

〒 天満神社

児屋ノ川

● コンビニ

祀 ④ 永賞寺

祀 ⑭ 妙顕寺

● 北小学校

敦賀郵便局 ● 武道館

〒 ⑦ 氣比神宮

● 角鹿中学校

● 敦賀水産卸売市場
● 敦賀市漁協

⑤ みなとつるが山車会館

紙わらべ資料館

〒 晴明神社

⑥ 敦賀市立博物館

祀 ⑬ 真願寺

西小学校 ●

⑪ 敦賀城案内碑

● 敦賀商工会館

● 福井地方合同庁舎

● 福井地方裁判所
敦賀支局

伝・敦賀城範囲

〒 ⑧ 八幡神社

⑫ 敦賀城三の丸跡

祀 ⑩ 来迎寺

高寺墓
の墓 ●



つるがじょうさんのまるあと

敦賀城三の丸跡 12

● コンビニ

● 男女共同参画センター

ショッピングセンター ●

● コンビニ

しんかんじ

真願寺 13

敦賀城の乾門跡に建てられた真願寺。
境内に城の礎石が残り、
在りし日の敦賀城をしのばせます。

電 0770-22-1860

所 敦賀市結城町14-1

● プラザ萬象
● 図書館

敦賀観光案内所
(敦賀駅交流施設オルパーク)

敦賀駅

P (有料)

● コンビニ

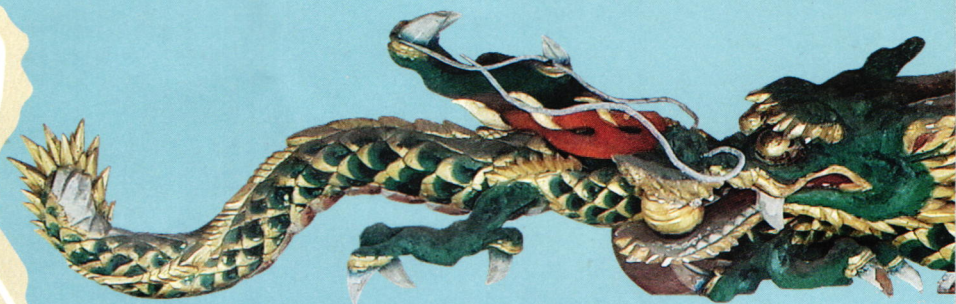
● コンビニ

● コンビニ

ショッピング
センター ●



常宮神社拝殿より敦賀湾を望む



はちまんじんじゃ

八幡神社

敦賀城内にあったと伝えられる龍の欄間
大谷吉継が寄進した石燈籠など、さまざま
また、信長が奉納したと伝えられる太刀

電 0770-22-1193
所 敦賀市三島町1-3-3
拝 9:00 ~ 16:00

8

あつ!
こんなところに
ハトが。



えいけんじ

永建寺

9

敦賀城築城にあたって
現在の地に移転しました。
移転にあたって
吉継が寺領を安堵した
書状が残されています。

電 0770-22-0465
所 敦賀市松島町9-5



ひきたじょうせき

足壇城跡

15

朝倉家の家臣である足壇対馬守久保が
文明年間(1469~1487)に築いた城で、
越前最南端を守る重要な拠点でした。
元亀元年(1570)、信長による「越前攻め」で、
金ヶ崎城とともに破壊されました。

所 敦賀市足田

げんぱおじょうせき

玄蕃尾城跡

16

福井と滋賀の県境、
中尾山(標高439m)の山上にあります。
天正11年(1583)、柴田勝家により
築城されたといわれています。
勝家は賤ヶ岳の戦いの際、本陣を構えました。
横堀や土塁など、往時の遺構が
いまでも残っています。

所 敦賀市刀根(中尾山)



氣比の松原海水浴場

P

氣比の松原

日本
三大松原

コンビニ

市立体育館

松陵中学校

市営野球場

敦賀高校

松原神社

武田耕雲
水戸烈士

らいこうじ

来迎寺

10

敦賀城から移築したと伝わる中門や
城の御殿にあったといわれる
木製 加飾腰高障子(県文化財指定) など
幻の敦賀城の華やかな面影を感じさせる
歴史的遺産が残っています。

電 0770-22-0654
所 敦賀市松島町2-5-32



コンビニ

敦賀市役所
敦賀消防署

コンビニ

コンビニ

井ノ口川

友情に殉じた武将

おおたに ぎょうぶのしょう よしつぐ

敦賀城主 大谷刑部少輔吉継

秀吉の小姓から敦賀城主へ

大谷吉継の出自

京都吉田神社神主の日記『兼見卿記』に、天正20（1592）年に吉継が28歳であると記されていることから、吉継の生年は永禄8（1565）年と考えられます。

母親は豊臣秀吉の正室（お祢、高台院）の侍女で「東殿」と呼ばれた女性です。「東殿」の出自はわかりませんが、秀吉の長浜城主時代には吉継とともに秀吉夫妻に仕えていたようです。

父親はわかりません。近江出身であるともいわれていますが、京都青蓮院門跡の坊官（寺務担当の僧侶）大谷家の系図に吉継の名があるので、父親あるいは「東殿」が大谷家である可能性があります。青蓮院は鎌倉時代から敦賀を支配していた実績があり、大谷家のなかに敦賀市内に今ものこる地名「苅野（苅生野）」を名乗る一族がありました。敦賀との縁は、吉継の時代より古くからあったのかもしれませんが。

敦賀の町たてを行う

敦賀領主となったのは天正17年、前領主の蜂屋頼隆が9月に亡くなったあと、12月には吉継は敦賀入りしています。敦賀の町立て（都市整備）を行ないました。

本格的な町割り（都市整備）のもとに、川東、川中、川西と3つのゾーンにわけ、後の敦賀三十六町と繁栄を謳われた都市基盤を整備しました。このために、寺院や商人の屋敷を移転、集住させるなど、諸政策を行なった文書が残っています。

敦賀城を築く

敦賀城の築城は蜂屋頼隆の時代にはじまったといわれますが、本格的に整備・完成したのは吉継の時代で



来迎寺に移設された敦賀城中門

関ヶ原合戦図六曲中屏風／右隻（敦賀市立博物館蔵）

大谷吉継の生涯

1565 年	吉継生誕（異説あり）
1578 年（14歳）	秀吉の中国攻めに参陣。
1583 年（19歳）	賤ヶ岳の戦いの直前、敵の吉村又吉郎の調落に成功し、今尾城の開城に立ち会っていたことから、参戦できず。これにより官吏面での才をかわれる。
1585 年（21歳）	従五位下刑部少輔となる。
1589 年（25歳）	越前敦賀城主になる。
1590 年（26歳）	小田原城攻めの際、石田三成らとともに忍城攻めを行うが失敗。
1592 年（28歳）	第1次朝鮮出兵（文禄の役）で、石田三成、増田長盛と共に軍奉行として自らも渡海。
1598 年（34歳）	秀吉が死去後、徳川家康に接近。
1600 年（36歳）	徳川家康に従い上杉討伐へ向かう途中、石田三成と佐和山で会談、西軍につくことを決意。関ヶ原の戦いでは藤堂高虎らと激突、善戦するが、小早川秀秋や脇坂安治らの裏切りによる横槍をまともに受けて隊は壊滅、その中で自刃。

辞世の句 契りあらば 六つの巷に 待てしはし
遅れ先立つ ことはありとも



す。元和の一国一城令により1616年に破却されたとされ、その後、跡地には御茶屋、代官所、奉行所等、小浜藩の役所が置かれました。絵図や屏風などに小さく描かれた他は、地元の伝承に残るだけで、長い間、幻の城といわれてきましたが、最近の発掘調査で、城内の建物跡と推定される遺構が発見されました。今後の調査の進展によって敦賀城の解明が進むことが期待されます。

敦賀湊の繁栄をもたらす

戦乱で衰えた京都を復興し、大阪に経済の中心をつくる豊臣秀吉の政策を敦賀で推進したのが吉継です。

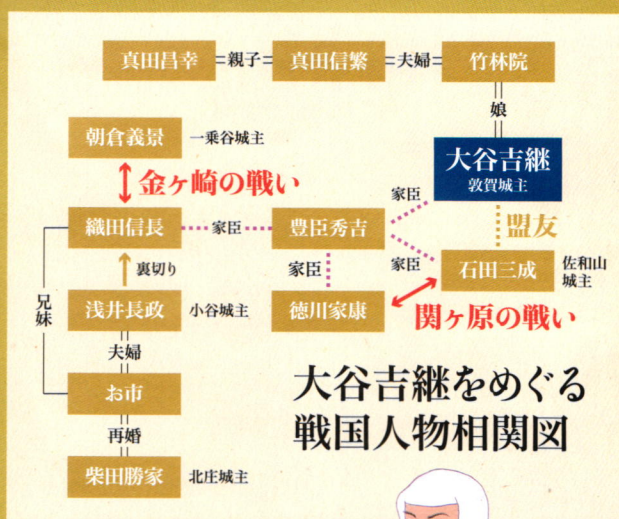
その象徴的な事例が、秀吉の伏見城築城のための秋田杉(太閤板)を、東北から敦賀に回漕したことです。有力な船持ち商人(道川氏、小宮山氏、田中氏など)が運送に従事しました。

義に生きる

盟友・石田三成との友情を貫き、関ヶ原に散った吉継

戦国時代の終わりを告げる「関ヶ原の合戦」から四百余年。裏切りが常の戦国の世に、盟友・石田三成とともに豊臣への忠義を貫いた敦賀城主・大谷吉継。大谷刑部少輔吉継。

慶長5年(1600)天下分け目の関ヶ原で、吉継はみずからつくりあげた勝算を胸に、西軍三成側について善戦するが、味方の裏切りが続き、大谷軍は全滅。吉継は自害し、ここに生涯を終えた。大谷吉継は不治の病に冒されながらも「忠義と友情」に殉じた戦国の「智将」であった。



関ヶ原合戦図六曲中屏風
大谷吉継布陣部分
(敦賀市立博物館蔵)



大谷吉継肖像画 (現代)
(石田多加幸氏所蔵)

信長、秀吉、家康——天下取りへの転換点となった金ヶ崎。

岬の先端に位置し三方を海に囲まれた金ヶ崎は、近江から越前への陸路と海路を押さえる要衝であり、南北朝時代より幾多の戦いが繰り広げられてきました。戦国時代、織田信長は朝倉攻めの際、浅井軍の後方からの攻めにあい撤退を余儀なくされました。

“金ヶ崎の退き口”の攻防

元亀元年(1570)

- 4月20日 信長、3万の軍勢を率い、京を発つ
- 4月22日 九里半街道をへて熊川宿へ
- 4月23日 佐柿(国吉城)に入る。敦賀・妙顕寺に陣を構える
- 4月25日 天筒山城を落とす
- 4月26日 金ヶ崎城開城
- 4月28日 浅井長政の裏切りに信長、総退却
- 4月30日 朽木谷を越え京へ入る

信長が浅井長政の裏切りをいち早く知り、窮地を脱することができたのは、お市の方が、両端をひもで結んだ小豆袋を、信長の元へ送り、袋のねずみとなることを暗示して知らせたからだとする逸話も残っています。また撤退の際、秀吉は殿(しんがり)を務め、その信を受け、のちに天下取りの道を歩みました。



常宮神社

神功皇后がここで安産祈願し、皇子の応神天皇を無事出産したとの逸話があり、安産の神様として崇められています。吉継が第1次朝鮮出兵（文禄の役）において持ち帰り、秀吉の命によって奉納されたといわれる「朝鮮鐘」（国宝）が残されています。



電 0770-26-1040
所 敦賀市常宮 13-11

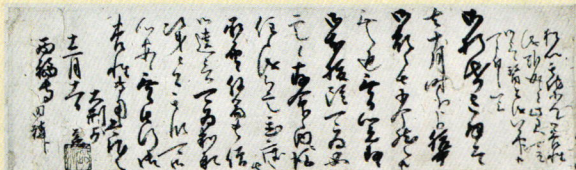
拝殿の目の前には、真っ青な敦賀の海がひろがります。



さいふくじ

西福寺

応安元年（1368）に良如上人が開いた浄土宗鎮西派の中本山。1400坪にも及ぶ書院庭園は国の名勝に指定されています。朝倉義景や織田信長、大谷吉継など、敦賀を治めた歴代の武将たちの書状が数多く残っています。



大谷吉継書状（年不詳12月11日）西福寺所蔵
病に冒された西福寺住職に医者の手配を申し出る書状。吉継の心配りが感じられます。

電 0770-22-3926
所 敦賀市原 13-7
拝 9:00～17:00
料 大人 300 円 / 中学生以下無料
（団体 30 名以上 250 円）

②西福寺

様々な戦の舞台となった金ヶ崎、大谷吉継が治めた敦賀のまち——
戦国武将たちが踏みしめた大地、空間がここに 있습니다。
戦の舞台やゆかりの地を巡り、戦国の世に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

歴史を訪ねて 敦賀をぶらり

敦賀城主
大谷吉継
敦賀市公認キャラクター
よっしー



…… ぜひ訪ねたいゆかりの地 …… 近くのおすすめ立ち寄りスポット



かねがさきじょうせき

金ヶ崎城跡 ③

“守るに易く、攻めるに難い”金ヶ崎は
いにしえより交通の要衝でした。
信長は越前に攻め込んだとした時、
同盟関係にあった浅井長政の離反により
撤退を余儀なくされ、かううじて京へ逃げ帰りました。

所 敦賀市金ヶ崎町

えいしょうじ

永賞寺 ④

吉継の菩提寺と伝わる曹洞宗の寺院。吉継の供養塔と伝えられる
慶長14年造立の九重の塔（市指定文化財）があります。
毎年9月には供養祭も行われています。

電 0770-22-1919

所 敦賀市栄新町11-20



みなとつるがやまかいかん

みなとつるが山車会館 ⑤

「敦賀まつり」で使われる山車を一堂に展示。
入口には吉継の武者人形が飾られています。
別館には吉継の特集コーナーがあり、
吉継グッズも販売しています。

電 0770-21-5570

所 敦賀市相生町7-6

営 10:00～17:00

休 月（祝日の場合はその翌日）／祝日の翌平日
年末年始／山車メンテナンスにあたる週（9月中旬）

料 大人300円／高校生以下無料
（敦賀市立博物館との共通券500円）
※「清明の朝市」の日（毎月第3日曜日）は無料



けひじんぐう

氣比神宮 ⑦

大宝2（702）年の建立と伝えられている、北陸道の総鎮守。
織田信長の越前朝倉攻めにより氣比神宮は灰燼に帰し、
社僧離散、社領没収、祭祀廃絶するまでに至りましたが、
慶長19年（1614）に越前福井藩祖によって社殿造営。
社家復興となりました。

電 0770-22-0794

所 敦賀市曙町11-68

営 6:00～17:00

大鳥
修復

平成28年
平成29年
（予定）

日本三大
木造大鳥居



つるがしりつはくぶつかん

敦賀市立博物館 ⑥

旧大和田銀行本店建物（福井県指定文化財）を
活用した歴史博物館です。

本パンフレット表紙「関ヶ原合戦図六曲中屏風」等を所蔵、
大谷吉継の実像に迫る人気のシリーズ講座
「吉継カフェ」も開催されています。

電 0770-25-7033

所 敦賀市相生町7-8

営 10:00～17:00

休 月（祝日の場合はその翌日）／祝日の翌平日／年末年始

料 大人300円／高校生以下無料
（みなとつるが山車会館との共通券500円）
※「清明の朝市」の日（毎月第3日曜日）は無料

コンビニ